

DIVERSITY



ダイバーシティ 2019 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

「好きな食べ物は？」「肉！」、学内一時託児で学長と小学生がおしゃべり！

今夏、長岡技術科学大学で初めて「学内一時託児」を実施しました。実施期間は8月7日～10日の4日間で、延べ50名近い小学生が参加してくれました。「子どもたちにドキドキ、わくわくするような体験を!!」を合言葉に、部署や業務内容の異なる教職員が一丸となって取り組みました。

体験の一つに「学長室訪問」を設けたことは大当たりでした。鎌土学長が小学生からの質問に真摯に向き合い、わかりやすい言葉で、しかし少しだけ背伸びをしてもらえるよう専門知識や用語を交えながら丁寧に回答していました。一方で、「みんな好きな食べ物は何？」と小学生に質問する鎌土学長と、それに我先に回答しようとする小学生たちの様子は、私たちの誰もが笑顔になる瞬間でした。

本取組の一番の立役者をあえてあげるとすれば、それは、ボランティアとして協力してくれた本学学生たちだと思います。学生たちが子どもたちと過ごした時間は、大げさではなく、涙なしに語ることでできないたくさんの思い出を含んでいるように感じます。「本当にお疲れさまでした」という言葉と共に、この場を借りて改めてお礼申し上げます。



生理日管理ツール「ルナルナ」がやってくる！シンポジウムを開催します

11月29日(水)13時から「ビッグデータが導く革新と可能性～経済産業省が推し進める Fem tech を活用することで私たちの日常はどのように変化するのか～」をテーマにオンラインと対面のハイブリッド形式でシンポジウムを開催します。

Fem tech(フェムテック)とは、Female と Technology を組み合わせた造語で、女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスを指すものです。生理日管理ツール「ルナルナ」の開発・運営を行う「株式会社エムティーアイ」執行役員・日根麻綾氏を講師にお招きし、ビッグデータを活用したアプリ開発秘話や Fem tech の経済効果等についてご講演いただきます。人材の活用、マネジメント等の観点から、「健康課題」に組織はどのように取り組むべきかを考えるきっかけにもなりますので、ぜひご参加ください。

申込み・詳細はこちら
の QR コードから



パパの育休 体験記

長岡技術科学大学 職員 Zさん (仮名)

私が育児休業の取得を考えたのは、出産後の妻に育児や家事が大きく負担になるだろうと思い、少しでも負担を軽減したかったからです。家族としてどのように生活するかを夫婦で話し合い、私も育休取得を申請することにしました。

育児休業の取得について当時の上司に相談したところ、上司のご子息も育児休業を取得しているとのことで、快く了承してくれました。また上司は、私の仕事の穴埋めのために担当部署にかけあい、私の希望に沿って、半年間育児休業で抜けても問題ない体制を整えてくれました。

育児休業中入ると、最初の数週間は、赤ちゃん返りした娘と赤ちゃんの息子の要求に追われる日々でした。ただ、辛いと思うことは少なく、おむつ交換やお風呂の時間など、二人の子供の世話を手を焼きながら、笑顔の時間を共有しました。

育児休業期間の終わりには、妻と娘に、もっと長い期間一緒にいてもらいたいと思ってもらえるほど、家族の絆が一層深まったことを感じました。

育児休業が終わったこれからも、この体験を忘れずに家族との時間を大切にしながら、子供の成長を見守りたいと思います。



今後のイベントスケジュール

日程調整中	博士後期課程進学セミナー(仮) 会場：長岡技術科学大学 (予定)
11/23(祝)	Waffle Camp ホームタウン in 長岡 女子中高生対象プログラミング講座 会場：ミライエ長岡
11/25(土)～ 12/10(日)	オレンジ・デー 女性に対する暴力撤廃のために国連の定めた国際デー
11/29(水)	ダイバーシティシンポジウム ビッグデータが導く革新と可能性～ 経済産業省が推し進める Fem tech を活用することで私たちの日常はど のように変化するのか～ 会場：長岡技術科学大学 & オンライン
	第5回連携機関・協力機関会合 兼 第2回えちご・ものづくりダイバー シティ・コンソーシアム準備委員会 総会 会場：長岡技術科学大学 & オンライン

Column WLB相談室から

【 しなやかな心 】

仕事と子育てや介護、治療などを両立しながら働く時代になりました。さらに、コロナ禍の社会では、しなやかな心を育み、ストレスに対処し、メンタルを回復させる力が不可欠です。困難に直面しても、しなやかな心で乗り越えていきましょう。そのためには、ネガティブな感情をその日のうちに解消することが重要です。気晴らしの方法には、運動や呼吸法、音楽を聴くこと、文字に書き出すことなどがあります。また、話を聞いてもらうことも有効です。WLB相談室では、相談だけでなく、話を聞いてほしい方にも対応しています。お気軽にご相談ください。

WLB相談予約

メール：wlb_soudan@vos.nagaokaut.ac.jp

電話：0258-47-9911

(長岡技術科学大学内線 9911、2170)

長岡技術科学大学ダイバーシティ研究環境推進部門
(3機関連携事務局)
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603 - 1
Tel : 0258 - 47 - 9911 (内線 9911・2170)
Email : danjo@jcom.nagaokaut.ac.jp



編集後記：夏真っ盛りの8月初旬、汗水流しながら本学初の試みである一時託児を実施しました。じりじりと肌を突き刺す日差しと元気いっぱいな小学生たち、散々、学内を動き回って、だらだらと汗は落ちるも残念ながら体重は落ちず…。ダイエットは失敗したけど、楽しい4日間でした！(令和5年9月)